



# 森ボラ 通信

第249号 2023年2月20日発行  
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター  
TEL (fax.): (011) 816 - 7010  
E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

## 活動報告

### ◆ 冬は整理伐の合間にセミナーで森づくりを勉強 !!

～ 第2回冬季セミナーは樹木医の崎川さんが講演

1月19日札幌エルプラザにおいて冬季セミナーが開催されました。前半の会員例会では樫棒さんから「各活動地の生長調査」、清澤さんからは「澄川第一樹木園の毎木調査」について調査の目的や課題、今回の調査結果と過去からの推移等の報告を頂きました。

後半は合同会社森のピタゴラス代表で樹木医・木育マイスターでもある崎川哲一さんより「人が活用する森づくり」というテーマで講演していただきました。

環境保全・安全性を目的とした街路樹や森林の調査・管理活動だけではなく、より地域の資源として、また子供たちの活動場所となるような「積極的な活用が目的の森づくり」を目指した活動をしているとのことで、様々な取組や事例について紹介して頂きました。

また森林を管理していく上では、土壌・植生状況の遷移に沿った管理(植生遷移)を行うことで長期的に無駄なコストを抑え環境負荷も軽減できるとのことで、具体的な植生の移り変わりのイメージや樹種の特徴(先駆種・中間種・後期種)等についてお話いただきました。

中でも、実際の生長調査結果(協会ホームページのデータ集)を基に「澄川の森の今」を分析し解説して頂いた際は、とても面白く息をするのも忘れたよう？に聴き入ってしまいました。



森の健康診断や枯死木の扱いなど実践的な話をしていただきました

澄川E-6区標準地(風倒保全地区)2018年12月毎木調査結果

番号	樹種	本数(本)	平均直径(cm)	断面積(m <sup>2</sup> )	材積(m <sup>3</sup> )
1	イタヤカエデ	12	10.2	0.126	0.742
2	イヌエンジュ	1	16.9	0.022	0.13
3	オオバボダイジュ				
4	カラマツ				
5	クリ	18	21.1	0.677	4.845
6	クルミ				
7	サクラ	6	17.4	0.197	1.520
8	シナノキ				
9	シラカンバ	5	19.4	0.156	1.053
10	ホオノキ				
11	ハリギリ	2	12.3	0.025	0.136
12	ミズナラ	12	21.0	0.474	3.538
13	ミズキ				
計		56	17.8	1.677	11.971
1haあたり		1,400		41.9	299.3

上層木の本数	35本
代表木の樹高	17.8m
調査区面積	400m <sup>2</sup>
樹木1本あたり面積	11.4m <sup>2</sup>
樹木間の平均距離	3.4m
相対幹距比	19.0

### “遷移に沿った管理”の事例として 崎川さんがあげた澄川環境林E-6区

クリ、ミズナラが林冠を優占傾向  
そこにシラカンバ、サクラが混交  
亜高木層にイタヤカエデが生育

⇒ 今後は  
ミズナラ、イタヤカエデが優占?

また、崎川さんの見立てでは、『澄川の森はおよそ1,000本/haで混んでいる → 600本/ha程度、散策型では1,000本/ha以下』とのこと

私自身、何度か生長調査の経験はありましたが、結構大変な作業の割に「前回より大きくなった？枯れてしまった？」程度の感想と分析？で完結していたのですが、今回のお話を聴き、森を育てる直接的な活動だけでなく、「継続的に調査してデータを残す」ことの必要性を再認識した次第です。

今後も、私の分析能力アップは期待薄ですが、孫子の代に「良いデータを残してくれた」と言われるよう、もっと真面目に調査しなければ…と思いつつセミナーを終えました。(文・山口)

## ◆ 第6回親子森林教室を開催 ～ テーマは「木を切る」

すっぼりと雪に覆われた澄川の森に、森しり隊員11名、保護者8名、協会員16名の計35名が参加し、第6回親子森林教室が開催されました。テーマは冬の森で「木を切る」です。

4か月ぶりの森しり隊員たちは森に着くなり雪の中を転げたり、雪玉を握って投げ合ったり、もう冬の森に夢中の様子。濡れて寒くなって最後までもたないのではないかとハラハラしたのは、後に全くの杞憂でした。



スノーシューを履いて冬の森歩き

まず今年度最初のスノーシューの履き方からはじめましたが、経験者も多く皆さん難なく履きこなしていました。清澤隊長から本日のプログラムの説明ののちABCの3班に分かれ、少し遠い木を切る場所(E-8区)まで冬の森歩き。キタギツネとエゾリスの足跡が交わっていて、リスは無事かと思いを巡らしたり、タヌキとキツネの足跡の違いを見比べたり、冬の森は動物たちの気配でいっぱいでした。木々はすっかり葉を落としています、ハリギリの黒い実やツルアジサイ、ノリウツギの花柄を雪の上に拾いながら「森歩き」をしました。



チェーンソーによる伐木：受け口と追い口を確認

目的地に着いて最初はチェーンソーによるシラカンバの伐木の見学です。大窪さんが何故冬に木を切るのか、どんな木を切るのか、手鋸とチェーンソーの使い分け、倒す方向や安全確保について説明したのち、皆の安全圏への退避を確認し、チェーンソーを起動させて受け口を作りました。作業を一時中断し、作った受け口と追い口を作る位置を隊員たちが観察したのち、再び安全圏に退

避し、笛の合図で伐倒、見事に見定めた方向に懸かり木にもならず大きな音を立てて倒れた瞬間、皆の拍手が湧き起こりました。この木は傾斜していて、周囲にシラカンバが何本もあり、また多少枯れかかっていることもあって伐木されました。直径は約20cmで、受け口の楔形の木端を拾い大事そうに持ち帰った隊員もいました。



手ノコによる立木を切る体験

いよいよ隊員が木を切る体験です。各班長が手鋸での切り方を実演した後、家族ごとに割り当てられた木を切りました。チョークで受け口、追い口に印をつけて、手鋸を入れていきます。受け口のナタの作業は保護者に担ってもらいました。切り倒した瞬間には歓声上がり、切り口から新鮮な木の匂いがすると感動している隊員も

いました。切った木は株立ちや傾斜木のイタヤカエデ、ホオノキ、ミズナラで、切り倒した後には枝を払い、2mサイズに切って片付けまで行いました。



的当て袋目かけて雪玉の連射



D-1区からC-2区へ悠然と移動するキタキツネ



林間コースでソリ滑り

整理伐を終えた班から帰路に付きましたが、冬芽の着いた枝を何本も抱える者、細い倒木の皮をつるつるに剥いてシナイのように担ぐ者、魔法使いの杖のような形の木切れをついている者など、それぞれの成果を意気揚々と持ち帰りました。

小屋前広場に戻ると、すぐ近くを毛もフサフサのキタキツネがこちらを確かめながら悠然と通り過ぎるのを目撃した隊員たちも多く、三橋さんはカメラに連写してくれました。広場の木には石飛さん特製の“的当て袋”が吊るされていて、子供たちは合図とともに一斉に的をめかけて雪玉を投げつけました。お母さんたちの「野球少年がんばれ!」といった声援も飛び、袋が少しずつ破れるたびに紙飛行機やお菓子が舞い散って、歓声はますます高くなりました。楽しく盛り上がったところで終礼となり、次回の第7回は今年度の修了式で、隊員たちには一年間の感想を書いてくるようにとアナウンスされました。

更に番外編として、協会員が汗をかいて作った大小2本の森の滑り台、大きい方はかなり急で途中でギャップが2カ所あり、スピードに乗ったソリは大きくジャンプ。“マイ櫓”持参の隊員たちは何度も迫力あるソリ滑りを楽しんでいました。

今日の冬の森での活動が森しり隊員たちの心に、楽しい思い出として深く刻まれることでしょうか、きっと。

(文・合田)

## ■ 澄川の自然 42

### オオカメノキ (大亀の木・スイカズラ科)

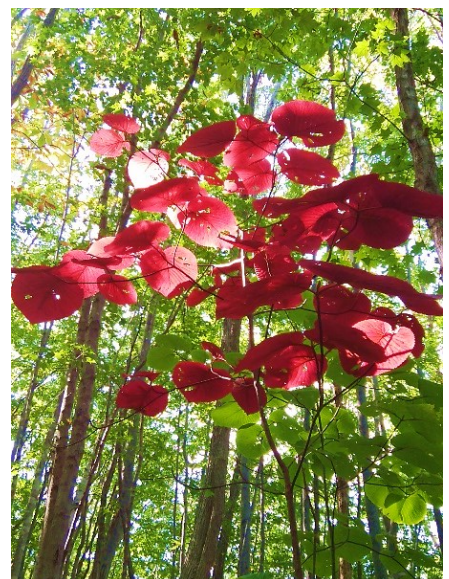
別名ムシカリ。葉が美味しいのか良く虫に食べられて穴が空いている。犯人はサンゴジュハムシという昆虫。丸い葉は亀の甲羅を連想させるのでこの名が付いた。

落葉小高木、澄川の森では希少種だと思う。何年か前、E-5かE-6の沢沿いで1本見かけたのと、C-4沿いの北に向かう路に樹名板を付けている1本です。

この写真は昨年10月、北地区で澄川南小の自然学習の時、オオカメノキを2本見つけたときのもの。1本だけがもうすっかり紅葉してとてもきれいになっていました。上空を見ると、この木の上の樹冠がポツカリと空いて、秋の陽がスポットライトの様に当たっているのです。

周りの木々も、もう1本のオオカメノキもまだ緑々しているのにこの1本だけ紅葉していて、自然って不思議です。

(写真/文・西野(澄))



## ■ 今月の幹事会

出席者(2/8):大窪・樫棒・加藤・清澤・釣井・西野(澄)・松藤・三橋・矢野

1. 2023年3,4月活動スケジュール(3月幹事会3/8(水)):了承
2. 2023年1月末会計報告:了承
3. 2022年度森林・山林多面交付金事業1月活動報告:年度末締切りのため今年度活動終了。
4. 第6回親子森林教室開催:スノーシューを履いて木を切る体験。そり遊び。
5. 「2023 澄川基本計画検討会」報告:さらに意見まとめが必要。2/24まで意見を!
6. 2023年度の森ボラ活動計画:年間野外での活動日数を120日。3月の会員例会で提示。
7. CSR活動“じょうてつの森づくり”の次年度計画:5回開催。10月は家族同伴のレクレーション予定。
8. 2023年度ぶんぶんの森覚書:3月中に取り交わす予定。
9. 現場報告
  - ・整理伐状況報告:了承
10. その他
  - ・2/22冬季セミナー:未定だった最初の講演は北海道庁環境生活部の2部署から「ゼロカーボンの取り組み」に決定

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
1月17日(土)	澄川	13	E-8 整理伐・集材、材積調書作成、親子森林教室準備
1月19日(火)	札幌エルサ 2F	20	第2回冬季セミナー
1月21日(土)	澄川	-	荒天のため活動中止
1月23日(月)	澄川	13	除雪、E-8より道具引揚げ
1月26日(木)	澄川	17	D-6,7 整理伐、澄川南小4年自然観察
1月29日(日)	澄川	13	D-6,7 整理伐・集材
2月1日(水)	澄川	15	D-6,7,8 整理伐・集材
2月4日(土)	澄川	12	D-6,8 整理伐・集材、親子森林教室準備
2月7日(火)	澄川	18	D-6,7,8 整理伐・集材
2月8日(水)	エルサ 生活研究センター	9	幹事会
2月12日(日)	澄川	17	第6回親子森林教室(冬の森歩き・木を切る)
2月15日(水)	澄川	9	除雪(上流橋、E地区避難小屋)